

2019年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
1305111	公衆栄養学 I Public Health Nutrition I	上島 寛之	専門	2	必修	2年 後期
<b>科目の概要</b>						
公衆栄養学は、地域や社会集団を対象として栄養上の問題点把握と改善及び疾病予防に重点を置く学問である。わが国や諸外国における健康・栄養問題の現状と課題を把握するとともに、それらに対応した主要な栄養施策について理解する。本科目では、その学びはじめとして、今後公衆栄養学を活用していく上での前提知識を習得する。						
<b>学修内容</b>			<b>到達目標</b>			
① 公衆栄養学の概念について学ぶ			① 公衆栄養学の意義・目的について、授業内で紹介した用語を用いて説明できる			
② 健康・栄養問題の現状と課題について学ぶ			② 健康や栄養の問題について、その変遷と現状さらに今後の課題について、それぞれ事例を列挙できる			
③ 公衆栄養の法的基盤や法規に基づく施策の内容を学ぶ			③ 公衆栄養の法的基盤や、それらに対応する施策を列挙できる			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>				
前に踏み出す力	主体性	与えられた課題にむけて自らアクションを起こす				
	働きかけ力					
	実行力	計画だけでなく、具体的な行動を実施する				
考え抜く力	課題発見力	授業内の課題から「自らの課題」を見つけ出す				
	計画力					
	創造力	既存の理論や現状をふまえた上で、自らのアイデアを付加した意見を考える				
チームで働く力	発信力	自らの考え・アイデアを相手が理解できる形で伝える				
	傾聴力	相手が伝えたい内容と聞き取った自らの理解をすり合わせる(=きちんと確認を取る)				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	ルール設定の意味を考え、適切に設定する				
	ストレスコントロール力					
<b>テキスト及び参考文献</b>						
テキスト:公衆栄養学 2019年版 地域・国・国際レベルでの栄養マネジメント 特定非営利活動法人日本栄養改善学会 監修/酒井徹・由田克士 編(医歯薬出版)						
参考書:わかりやすいEBNと栄養疫学 佐々木 敏 著(同文書院)						
<b>他科目との関連、資格との関連</b>						
他科目との関連:基礎栄養学、公衆衛生学 I、II、情報処理演習、食品学 I、II、応用栄養学、栄養教育論、栄養指導論、地域栄養活動論、公衆栄養学実習、臨床栄養学、臨地実習(行政栄養) など公衆栄養の実践にはこれら多くの科目が関連						
<b>学修上の助言</b>			<b>受講生とのルール</b>			
学修する内容は、目の前の現実社会における課題と直結しています。それは食生活、栄養とどのような関わりがあるのか、身近な情報源(ニュース等)を見てみましょう。			公衆栄養の実践には多くの科目が関連します。これまでに学修した科目との関連性を意識しながら授業に臨んでください。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
筆記試験	50	①	✓	授業内で紹介した内容を理解し、正しい回答をできるか、また自身の見解を論理的な文章で論じているかを評価する。テキスト、資料、ノート等持込不可とする。
		②	✓	
		③	✓	
小テスト	40	①	✓	前回の授業内容を理解できているかを確認するため、毎授業の冒頭に小テストを実施する。 ・選択問題等の形式にて出題する。 ・出題範囲は、前回の授業で学修した内容とする。 ・小テストは採点后返却するため、復習に活用すること。
		②	✓	
		③	✓	
レポート				
成果発表 (口頭・実技)				
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	(主体性) ・与えられた課題にむけて自らアクションを起こすことができる (実行力) ・計画だけでなく、具体的な行動を実施することができる (課題発見力) ・授業内の課題から「自らの課題」を見つけ出すことができる (創造力) ・既存の理論や現状をふまえた上で、自らのアイデアを付加した意見を考えることができる (発信力) ・自らの考え・アイデアを相手理解できる形で伝えることができる (傾聴力) ・相手が伝えたい内容と聞き取った自らの理解をすり合わせる (規律性) ・ルール設定の意味を考え、適切に設定することができる 例)6回以上の欠席は0(放棄)判定となるルールを守るなど
		②	✓	
		③	✓	
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベル S(秀)及び A(優)の基準	到達レベル B(良)の基準
公衆栄養の概念、健康や栄養に関わる現状、公衆栄養に関する法規と施策についての知識を理解したうえで、それを活用してワークの課題に取り組むことができる。S の場合には、今後の公衆栄養に資する法的及び制度的枠組みの提案をすることができる。	公衆栄養の概念、健康や栄養に関わる現状、公衆栄養に関する法規と施策についての知識を理解し、重要事項の用語を述べる。さらに B の場合には、学んだ事項に対する自身の解釈を述べる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 / 1週	0. イントロダクション  1. 公衆栄養の概念(第1回) 1-1. 公衆栄養ってどんなもの	講義とワーク	公衆栄養学Iの大まかな学修スケジュールについて説明できる  公衆栄養学の意義・目的について、授業内で紹介した用語を用いて説明できる	(予習) 本科目のシラバスを読んでおく (復習) 講義内容を整理して重要点をまとめ、小テストに備える	180	課題発見力 傾聴力
2週 / 2週	1. 公衆栄養の概念(第2回) 1-2. 公衆栄養活動の概要	小テスト 講義とワーク	公衆栄養学活動について、授業内で紹介した用語を用いて説明できる	(予習) 教科書の該当箇所を目を通す (復習) 講義内容を整理して重要点をまとめ、小テストに備える	180	創造力 傾聴力
3週 / 3週	2. 健康・栄養問題の現状と課題(第1回) 2-1. いまの社会の健康・栄養問題について	小テスト 講義とワーク	健康や栄養の問題について、授業内で紹介した用語を用いて少なくとも一つ列挙できる	(予習) 教科書の該当箇所を目を通す (復習) 講義内容を整理して重要点をまとめ、小テストに備える	180	課題発見力 傾聴力
4週 / 4週	2. 健康・栄養問題の現状と課題(第2回) 2-2. 健康状態の変化	小テスト 講義とワーク	健康や栄養の問題について、授業内で紹介した用語を用いて少なくとも一つ列挙できる	(予習) 教科書の該当箇所を目を通す (復習) 講義内容を整理して重要点をまとめ、小テストに備える	180	課題発見力 傾聴力
5週 / 5週	2. 健康・栄養問題の現状と課題(第3回) 2-3. 食を取り巻く環境の変化	小テスト 講義とワーク	健康や栄養の問題について、授業内で紹介した用語を用いて少なくとも一つ列挙できる	(予習) 教科書の該当箇所を目を通す (復習) 講義内容を整理して重要点をまとめ、小テストに備える	180	課題発見力 傾聴力
6週 / 6週	2. 健康・栄養問題の現状と課題(第4回) 2-4. 諸外国の健康・栄養問題の現状と課題	小テスト 講義とワーク	健康や栄養の問題について、授業内で紹介した用語を用いて少なくとも一つ列挙できる	(予習) 教科書の該当箇所を目を通す (復習) 講義内容を整理して重要点をまとめ、小テストに備える	180	発信力 傾聴力
7週 / 7週	3. 栄養政策(第1回) 3-1. 健康づくり活動の概要	小テスト 講義とワーク	栄養政策について、授業内で紹介した用語を用いて少なくとも一つ列挙できる	(予習) 教科書の該当箇所を目を通す (復習) 講義内容を整理して重要点をまとめ、小テストに備える	180	主体性 実行力
8週 / 8週	3. 栄養政策(第2回) 3-2. 公衆栄養関連の法律(1)	小テスト 講義とワーク	栄養政策について、授業内で紹介した用語を用いて少なくとも一つ列挙できる	(予習) 教科書の該当箇所を目を通す (復習) 講義内容を整理して重要点をまとめ、小テストに備える	180	課題発見力 傾聴力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	3. 栄養政策(第3回) 3-2. 公衆栄養関連の法律(2)	小テスト 講義とワーク	栄養政策について、授業内で紹介した用語を用いて少なくとも一つ列挙できる	(予習) 教科書の該当箇所を目を通す (復習) 講義内容を整理して重要点をまとめ、小テストに備える	180	課題発見力 傾聴力
10週 /	3. 栄養政策(第4回) 3-3. 管理栄養士の法律・制度	小テスト 講義とワーク	栄養政策について、授業内で紹介した用語を用いて少なくとも一つ列挙できる	(予習) 教科書の該当箇所を目を通す (復習) 講義内容を整理して重要点をまとめ、小テストに備える	180	課題発見力 傾聴力
11週 /	3. 栄養政策(第5回) 3-4. 公衆栄養行政と行政栄養士	小テスト 講義とワーク	栄養政策について、授業内で紹介した用語を用いて少なくとも一つ列挙できる	(予習) 教科書の該当箇所を目を通す (復習) 講義内容を整理して重要点をまとめ、小テストに備える	180	主体性 課題発見力
12週 /	3. 栄養政策(第6回) 3-5. 健康づくり施策	小テスト 講義とワーク	栄養政策について、授業内で紹介した用語を用いて少なくとも一つ列挙できる	(予習) 教科書の該当箇所を目を通す (復習) 講義内容を整理して重要点をまとめ、小テストに備える	180	主体性 課題発見力
13週 /	3. 栄養政策(第7回) 3-6. 国民・健康栄養調査	小テスト 講義とワーク	栄養政策について、授業内で紹介した用語を用いて少なくとも一つ列挙できる	(予習) 教科書の該当箇所を目を通す (復習) 講義内容を整理して重要点をまとめ、小テストに備える	180	主体性 発信力
14週 /	3. 栄養政策(第8回) 3-7. 諸外国の健康・栄養施策	小テスト 講義とワーク	栄養政策について、授業内で紹介した用語を用いて少なくとも一つ列挙できる	(予習) 教科書の該当箇所を目を通す (復習) 講義内容を整理して重要点をまとめ、小テストに備える	180	課題発見力 傾聴力
15週 /	まとめ	小テスト 講義とワーク	公衆栄養学 I で学んだ内容について、少なくとも三つ列挙できる	(予習) 教科書の該当箇所を目を通す (復習) 講義内容を整理して重要点をまとめる	180	主体性 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力